

看護人間工学会誌投稿規定

趣旨

学会の機関誌として「看護人間工学会誌」(Journal of Japanese Nursing Ergonomics Society: JJNErS)は看護及び人間工学における関連分野の研究成果を発表する学術雑誌であり、同時に研究者間の情報交換の役割を持つ。年1回以上発行される。

投稿条件

著者のうち少なくとも1名は、本学会員であることを要する。投稿する内容は、他誌に発表していないもの(学位論文などの機関リポジトリでの公開を含む)に限り、多重投稿は認めない。

原稿区分と校閲

原稿の種類は、原著論文、研究報告、短報、実践報告(事例報告を含む)、資料、寄稿などで、看護および人間工学の発展に寄与するものとする。

原著論文、研究報告、短報については、査読(ピアレビュー)を経て編集委員会が採否を決定する。寄稿などについては、編集委員会が必要に応じて字句の訂正などを行う。このとき、著者に改稿を求める場合があり、内容によっては受理しないこともある。いずれの区分も、原則として著者の校正は、初校(最初の修正)のみとする。

原著: 独創性や新規性、もしくは有用性の面で優れた完成度の高い論文

研究報告: 原著ほどではないが、研究成果に意義があると認められる論文

短報: 新規性をもち、早く発表する価値がある論文。

短報として掲載された内容は、のちに原著として投稿することができるが、研究背景(目的)、方法、結果などを簡明に記述する必要がある。

実践報告(事例報告含): 人間工学の視点で看護技術に関する実践や事例、用具の適用例を記述し、看護の実践に有益な論文

資料: 人間工学の視点で、看護技術等に関する調査、統計、実験などで試料とする価値のある論文

執筆要領

文書作成にはワープロソフト(原則としてMS-Word)を使用し、そのまま印刷できる形式で投稿する。必要な章立てで構成し、いずれの原稿区分でも図表と引用文献を含めて6ページ以内とする(スタイルや記載ルールについての詳細は、学会ウェブページに掲載されている)。

研究内容によっては、倫理や利益相反についての開示を必要とする。また、他の著作物を引用する場合は、投稿時に委譲に関する同意を得ておくものとする。

送付方法

投稿はメール添付で、随時受け付ける。投稿する場合は、オリジナル原稿のPDFファイルと、著者が特定できる箇所を削除した原稿のPDFファイルの両方を所定のアドレスに送信する。

※1週間以内に編集委員会から受領連絡がない場合は、問い合わせをする。

送付先・問い合わせ先

〒880-0929

宮崎市まなび野3-5-1

宮崎県立看護大学

TEL: 0985-59-7712/FAX: 0985-59-7771 (代表)

E-Mail: michiko-ta@mpu.ac.jp

掲載料と別刷り

印刷(6ページまで)に要する費用として、1論文につき規定の掲載料(1編につき10,000円)を支払う。また、これを超過する分についても、規定の費用(1ページにつき3,000円)を納める必要がある。

写真のカラー印刷等の特殊な印刷や編集を必要とする場合については、実費を著者の負担とする。

掲載論文の別刷りは、1論文につき20部まで無料とする。それ以上の部数を希望する場合は、実費を徴収する。

論文の採否と掲載順序

論文の採否は、査読者の意見を参考にして編集委員会で決定する。掲載の順序は原則として掲載許可順とする。

著作権など

本誌に掲載された論文の著作権は、看護人間工学会に帰属する。他誌および書籍へ図表を転載する場合には、書面でその旨を編集委員会に申請し、許可を得なければならない。

掲載が決まった場合は、編集委員会から発送される著作権譲渡同意書に、著者の全員が自署して郵送する必要がある。なお、掲載論文のメタデータ(抄録を含む)は、医学中央雑誌データベースに収録される。

2019年9月25日 制定

2021年1月20日改正

【原稿の書き方】

章立て

原稿（原著論文、研究報告、短報）は「表題と著者名」「要旨」「キーワード」「緒言（はじめに）」「方法」「結果」「考察」「参考文献」の順で構成する。寄稿他の章立ても、論文に準ずる。章には1, 2, 3... の番号をつけ、各章の節には1.1, 1.2, 1.3... のように番号をつける。箇条書きや参考文献については、ローマ字表記や囲み文字を使用せず、(1), (2), (3)... などの機種依存（①, ②など）でない形式を用いる。

文書スタイル

本文の文字サイズは11pt、フォントは和文MS明朝、英文centuryを基準とし、章や節のフォントはMSゴシックの太字にする。常用漢字、アラビア数字、SI単位系を用いることを原則とする。必要に応じてギリシャ文字（ μ ）や数学記号（ Π ：キリル文字 デー）を使用することができるが、機種依存文字（罫など）は使用できない。句読点については（「。」、「、」）もしくは（「.」、「,」）とするが、混在はさせない。

レイアウト

原稿の余白については、上30mm、左右下それぞれ25mmと定め、「緒言」以降は2段組とする。各ページの右下にページ番号を付与する。

図表

図表には必ず題名（もしくは題名＋コメント）をつけること。題名の配置は、図が下部、表が上部とする。図表が複数に渡る場合は、それぞれ通し番号を付与する。文章中で引用する場所を考慮してレイアウトする。なお、図表に枠線は入れないこと。出版済みの図表を用いるときは、所定の書式で承諾書

（ダウンロード）を作成して編集部に提示すること。

文献の引用

文献を引用するときは、本文中の引用箇所に文献番号を記載し、引用した順に「引用文献」の章に記すこと。形式については、次の通りとする。

【雑誌の場合】著者名：題名，雑誌名，巻号，ページ，西暦の順

1) 玉川京子他：高齢者スプーンの力学的考察，介護と人間工学，54(2)，12-18，2018.

【雑誌Onlineの場合】雑誌の書式で記載し、末尾にURLを付加する。なおDOIが存在するときは、URLではなくDOIコードを付加すること。

2) 玉川京子他：高齢者スプーンの..... 2018.
DOI：xx.xxxx/xxxxxxxxxx

【書籍の場合】著者名：「書名」，発行所，西暦の順

3) 墨田雅文（編）：「安全なバス・トイレタリーとセンサー」，マネジメント出版，2017.

【一部を引用する場合】著者名，章のタイトル，本の著者名，「書名」，発行所，ページ，西暦の順

4) 横山 薫：湯温センサーの課題，墨田雅文（編），「安全なバス・トイレタリーとセンサー」，マネジメント出版，58-62，2017.

【ウェブページを引用する場合】サイト名，URL（検索日）の順

(5) 厚生労働省（2014）：平成24年度 特定健康診査

http://www.mhlw.go.jp/.../info03_h24_00.pdf
（2015年3月3日）

* 投稿の際には別紙の投稿用チェックリストを記載して、原稿とともに添付してください。

看護人間工学データベース

← 和文表題は 14pt
ゴシックボールド

Databases in Nursing Ergonomics

中澤尚子, 柏野恵美里 (奄美看護大学)

Naoko Nakazawa, Emiri Kashino (AMAMI Nursing University)

} 表題以降は
12pt

要旨 (もしくは abstract) 要旨以降は 11pt で記載

.....
(和文の場合は 5 行程度、英文の場合は 200 語をめやすとする).....

キーワード:

要旨とキーワードの間は 1 行空ける

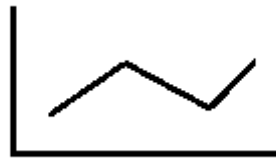
1. はじめに

.....
.....
.....
.....
.....

←→
25mm

3. 結果

.....



→→
25mm

2. 方法

2.1 装置

2.1.1 処理能力

.....
.....
.....
.....

図 1. ユーザーレスポンス

.....
.....
.....

表 1. アルゴリズムと応答速度

参考文献

- 1) 島崎さほ他: DB の高速レスポンス, テクノロジーと看護, 5(2), 12-18, 2019.

.....
.....

↑↓
25mm

投稿論文チェックリスト

投稿する前に、以下の項目に沿って原稿を確認してください。投稿の際、このチェックリスト（ホームページ掲載）を原稿に添付してください。下記の項目に従っていない場合は、受領できないことがあります。

※ 確認した項目の□にチェック（レ）を付けてください。

- 原稿の内容は他の出版物にすべて発表、あるいは投稿されていない。
- 著者のうち少なくとも1名は、本学会員である。
- 投稿規定に示されている論文の種類と希望する原稿の論文の種類が合っている。
- 倫理的配慮を要する研究では、その内容が具体的に記載されている。また、倫理審査委員会の承認書または原本の複写を添付している。
- 原稿とは別に表紙を用意し、それに表題（和文、英文）、著者名（和文、英文）、所属（和文、英文）の記載、原稿の種類、別刷希望の数、corresponding author の住所を記載している。
- 原稿の書き方に沿って章立てがなされている。
- 原稿はA4版横書きで、上30mm、左右上下それぞれ25mmで、「緒言（はじめに）」以降、2段枠組み、各ページの右下にページ番号が付いている。
- 表題、氏名や所属、要旨、本文の文字サイズ、フォントの統一がされている。
- 本文中の文献の引用では、引用箇所にも右肩カッコで文献番号が記載されている。
- 本文中の文献（著者、年次）と文献リスト内の同文献の著者、年次が一致している。
- 文献に関する情報は原典と相違ない。
- 提出する原稿として、オリジナル原稿のPDFファイルと、著者が特定できる箇所を削除した原稿のPDFファイルの2つが準備されている。
- 本文の誤字脱字の確認、記載内容などに欠落がないか確認している。
- 図、表及び写真の番号は、それぞれ図1、図2、表1、表2の形式になっている。
- 図表の解像度およびフォントサイズは印刷後に明瞭に読めるものになっている。
- 個人が特定される写真は肖像権の承諾を得ている旨を記載する。
- 著者（共著者含む）の利益相反（COI）について所定の様式（ホームページに掲載）を添付している。

査読後の修正原稿投稿の場合のみ、以下を追加してください。

- 各査読者への手紙をつけている。この手紙には、査読者からのコメント1つ1つに対する回答と、修正した場合には、初回原稿のどこをどのように修正したかが説明されている。
- 修正原稿の修正箇所には下線（もしくは赤字）がひかれている。

『看護人間工学会誌』の投稿論文に関する利益相反（COI）自己申告書

投稿論文題目：

- ・著者全員が1部ずつ作成してください。
- ・投稿時から遡って過去1年間のCOI状態を記載してください。配偶者や一親等の親族等、収入や財産を共有する者がCOI状態に該当する場合についても記載してください。

申告対象期間（西暦）： 年 月 ～ 年 月

申告すべき事項（申告の基準）	該当の有無		企業名/団体名・ 支払理由・金額 (有の場合に記載)
	申告者	親族等	
(1) 役員や顧問等としての報酬 (1つの企業や団体から報酬額が年間100万円以上)	申告者	有・無	
	親族等	有・無	
(2) 株式等による利益 (1つの企業や団体の公開株5%以上保有、あるいは保有株の利益配当・売却益の総和として100万円以上の利益を得ている)	申告者	有・無	
	親族等	有・無	
(3) 特許権使用料 (1つの企業や団体から年間100万円以上)	申告者	有・無	
	親族等	有・無	
(4) 講演料・謝礼金 (1つの企業や団体から年間50万円以上)	申告者	有・無	
	親族等	有・無	
(5) 原稿料 (1つの企業や団体から年間50万円以上)	申告者	有・無	
	親族等	有・無	
(6) 受託研究費、研究助成金、実験器具等の物品の受領 (1つの企業や団体から年間100万円以上)	申告者	有・無	
	親族等	有・無	
(7) 奨学寄附金 (1つの企業や団体から年間100万円以上)	申告者	有・無	
	親族等	有・無	
(8) 企業等の寄附講座への所属 (寄附金の総額が年間100万円以上)	申告者	有・無	
	親族等	有・無	
(9) その他 (上記以外で利害関係の存在が懸念される場合等)	申告者	有・無	
	親族等	有・無	

- ・本COI自己申告書は申告日から5年間保管されます。

私の『看護人間工学会誌』の投稿論文に関するCOIについて、上記の通り申告いたします。

申告日（西暦） 年 月 日

氏名（自筆署名）